

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地区組織活動事業						担当部	健康福祉部																			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター																			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	母子保健係・成人保健係																			
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します																					
		副目的																										
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	3													
	根拠法令・個別計画	健康こまきいきいきプラン																										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	子どもから大人までの地域住民の健康保持・増進のため、地域での健康意識を高め、お互いに育み合えるようにすると共に、気軽に健康づくりができるようにする。																										
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <p>保健連絡員を中心としたボランティアの援助により、地域の状況に応じた健康づくりを支援した。</p> <p>保健連絡員活動(地区健康展、ミニ健康展、がん死亡撲滅モデル地区活動、学習会、グループ会議、総会、活動発表会、赤ちゃん訪問等)をした。</p> <p>食生活改善推進員活動(定例会、総会等)をした。</p> <p>地域ボランティア活動(つつじ会、ささの会、そよかぜ、牧連体操クラブを始めとするボランティアの定例会等)をした。</p> <p>ボランティアが自身の成長ややりがいを得ることが出来るように、保健センターでは活動を支援した。</p> <p>◆H25年度直接経費の内訳</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ボランティア活動謝礼</td> <td style="text-align: right;">2,700千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動保険料</td> <td style="text-align: right;">81千円</td> </tr> <tr> <td>地区健康展等支援事業委託料</td> <td style="text-align: right;">1,938千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品等</td> <td style="text-align: right;">1,586千円</td> </tr> </table> <p>○26年度実施内容</p> <p>各活動とも、25年度同様実施する。</p> <p>◆H25年度直接経費の内訳</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ボランティア活動謝礼</td> <td style="text-align: right;">2,940千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動保険料</td> <td style="text-align: right;">102千円</td> </tr> <tr> <td>地区健康展委託料</td> <td style="text-align: right;">2,100千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品等</td> <td style="text-align: right;">2,724千円</td> </tr> </table>											ボランティア活動謝礼	2,700千円	ボランティア活動保険料	81千円	地区健康展等支援事業委託料	1,938千円	消耗品等	1,586千円	ボランティア活動謝礼	2,940千円	ボランティア活動保険料	102千円	地区健康展委託料	2,100千円	消耗品等	2,724千円
	ボランティア活動謝礼	2,700千円																										
ボランティア活動保険料	81千円																											
地区健康展等支援事業委託料	1,938千円																											
消耗品等	1,586千円																											
ボランティア活動謝礼	2,940千円																											
ボランティア活動保険料	102千円																											
地区健康展委託料	2,100千円																											
消耗品等	2,724千円																											
受益者負担	無																											

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,604	4,584	6,305	7,866	
		正職員	従事者数	人	0.80	0.80	0.80	0.80
			人件費	千円	4,208	4,208	4,208	4,208
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	8,812	8,792	10,513	12,074		
	対前年比	%		99.7	119.5	114.8		
財源	一般財源	千円	8,200	7,613	9,480	11,041		
	国・県支出金	千円	612	1,179	613	613		
	その他財源	千円	0	0	420	420		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	保健連絡員登録者数	人	目標		247	247	248
実績				247	247	248	
赤ちゃん訪問実施の保健連絡員OB数	人	目標		330	330	330	330
		実績		329	313	336	
績		目標					
		実績					
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
地区健康展及びミニ健康展参加者数	人	目標		1,067	1,060	1,300	2,000
		実績		1,053	1,267	1,853	
赤ちゃん訪問数実施率	%	目標		80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
		実績		86.4	83.0	85.0	

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	平成25年度まで、壮年期等保健事業で実施していた市主体の健康まつりを、各市民センター等を会場として保健連絡員が主体となって行う地区健康まつりに変更し実施した。大勢の地域の方の参加がをあった。保健連絡員の学習テーマを「地域力」とし、コミュニケーションの研究から、声のかけ方が地域での結びつきが強くなり地域力向上につながる事が分かった。 地域ボランティア活動においては、ボランティア主体で計画どおり実施できていた。					
	事業実施における課題	保健連絡員は区長に推薦を依頼しているが、引き受けるにあたってボランティア活動に不安を抱える方が多い。 地域で活動を始めたいという積極的は保健連絡員も多いが、地域の特長もあり活動の一步が踏み出せないという方もいる。					
	事業を縮小・廃止したときの影響	自分たちの健康は自分たちで守る。また、お互いを見守り支えあうという自助・共助の考えで健康づくりを切り口とした地域づくりを考えるために、現在のボランティア活動は必要である。行政側の一方的はサービスのみではなく、それを利用してもらえるような働きかけがあったり、地域からの声を聞くことが出来にくくなる。					
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	地域に有効な健康情報発信ができるよう、ボランティア活動のあり方を考え、地域に根付いた活動ができるように地区会議や学習会を引き続き実施していく。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	保健連絡員をはじめ各ボランティア団体が市民または地区民の健康づくりや介護予防、子育て支援等に積極的に関わっている。この活動が引き続きできるように現状維持をしていく。					
	27年度以降の改善案	保健連絡員が地域での活動を理解してもらえるように地域で行事等をしていくときは、必ず区長に報告連絡することを徹底する。 ボランティア活動をする中で、健康づくりが地域住民主体であることを周知していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。